

# YEG 青年部だより

2021年  
(令和3年)

5月号

全文は  
こちらから



## 会長就任挨拶



令和3年度 砺波商工会議所青年部  
会長 富田 哲夫

令和3年度会長を仰せつかりました富田哲夫です。日頃より、青年部の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない中で青年部としては、その時々状況素早く察知し、できる限りの活動を進めていきたくと考えております。

私が青年部に入会して十四年が経ちます。これまで、青年部の活動において様々な経験をさせていただきましたが、一番の財産は活動を通じての仲間との繋がりと感じます。

今年度は、会員の皆さんが参加しやすい環境づくりに努め、会員相互の繋がりを二層強化したいと考えています。そしてその仲間から様々な刺激を受け、各事業所の発展に繋がっていただきたいと思います。

【令和3年度スローガン】

# 以和為貴

わをもってとうととなす

今年度のスローガンは、「以和為貴(わをもってとうとなす)」。  
様々な意見を持った仲間が集い、お互いを理解した上で議論を深めて調和していく。そして、より良い砺波商工会議所青年部を作り上げ、この時代を突き進んでいきます。1年間よろしくお願いたします。  
令和3年度 会長 富田 哲夫

### 定時総会

4月5日(月)和風会館ふかまつにおいて第56回定時総会を執り行いました。今年も新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、多くの会員が出席のもと開催しました。令和3年度の事業計画が承認され、新スローガン「以和為貴(わをもってとうとなす)」のもと、新年度がスタートしました。  
(続きは全文へ) 記者 熊野皓太



### 北陸信越ブロック臨時総会

去る3月12日(金)にチューリップ四季彩館にて今年最初で最後となる対面での役員会・臨時総会・会長会議が行われました。設えを担当しました北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会の佐藤専務理事に今回の会議の成果をお聞きしました。(続きは全文へ) 記者 清登達朗



**載** どんな人なかが知ってるけ？  
**連** 青年部会員紹介！  
こんな活躍しています！  
日々頑張っている、あこんこのアンちゃん、ネちゃん、砺波でこんな活躍しています！

### かっこいい父親のようにな

富田 哲夫(会長)  
事業所：富田建築  
親子3代続く大工の長男として母親の実家である高岡の病院で産まれ、砺波市新富町で育ったのが今回の記事の主役である富田哲夫会長である。幼少期から父親に連れられて現場や工場を出入りするような物作りに興味を持つ子供だったと富田会長は当時を振り返った。富田会長が大工を志したのは小学校の頃、夜高製作時に町内の人達から頼られる父親を見て「かっこいい」と思ったのがきっかけだ。ご存じの方も多いと思うが高製作では台を組んだり山車を組んだり大工の仕事が生かされる場面が数多くある。父親のような大工になりたいと夢を持った富田会長は高校の進学先に高岡工業高校建築科を受験、見事合格し入学を果たす事となる。(続きは全文へ) 記者 渋谷康佑

### 「ありがとう」を大切に

中西 二夫(直前会長)  
事業所：(株)三喜有(食品スーパー)ツッキー  
日本語で一番美しい言葉「ありがとう」。言った数と言われた数が幸せのパロメーターではないか。そのように語る中西二夫直前会長は南砺市福野町で生まれ育った。料理が好きでシェフになるのが憧れだったが、父の背中を見ていくうちに、家族、力を合わせて稼業を支えていかなければいけないという思いを幼きながらも抱くようになった。そんな中西直前会長は高岡の高校を卒業後、小杉にある専門学校、その後静岡の大学へと進路を進める。大学を卒業した後、北海道は帯広市のスーパーで3年間修業。25歳で砺波に帰り、自身の会社(株)三喜有で働くこととなる。様々な不安とプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも32歳という若さで社長に就任した。  
(続きは全文へ) 記者 荒木悠史

昭和56年1月22日生まれ  
好きな食べ物 寿司・カレー  
趣味 そば打ち・庭の草むしり  
元は福光で魚屋 2代目

昭和54年11月12日生まれ  
好きな食べ物 ヒレカツ定食  
好きな音楽 レッチリ・ベビメタ  
休日の過ごし方 ドライブ



◀こちらをご覧ください!

# 以和為貴



青年部だより

5月号



## 会長就任挨拶

令和3年度会長を仰せつかりました富田哲夫です。日頃より、青年部の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えな  
い中で青年部としては、その時々  
の状況を素早く察知し、できる限りの活動を進めていきたいと考えております。

私が青年部に入会して十四年が経ちます。これまで、青年部の活動において様々な経験をさせていただきましたが、一番の財産は活動を通じての仲間との繋がりであると感じます。今年度は、会員の皆さんが参加しやすい環境づくりに努め、会員相互の繋がりを一層強化したいと考えます。そしてその仲間から様々な刺激を受け、各事業所の発展に繋げていただきたいと思います。

今年度のスローガンは「以和為貴（わをもってとうとしとなす）」。様々な意見を持った仲間が集い、お互いを理解した上で議論を深めて調和していく。そして、より良い砺波商工会議所青年部を作り上げ、この時代を突き進んで行きます。1年間よろしくお願いたします。

令和3年度 会長 富田哲夫

## 定時総会

4月5日(月)、和風会館ふかまつにおいて第56回定時総会を執り行いました。今年も新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、多くの会員が出席のもと開催しました。令和3年度の事業計画が承認され、新スローガン「以和為貴(わをもってとうとしとなす)」のもと、新年度がスタートしました。本年度も会員一同力を合わせて、地域に貢献できるよう努めてまいります。



【令和3年度役員紹介】

会長	富田哲夫	富田建築
直前会長	中西一夫	(株)三喜有
専務理事	佐藤丈寛	(有)佐藤鉄工所
筆頭副会長	天野修	(有)天野餅店
副会長	佐藤里依子	Azure。
副会長	久保田晃克	リアルプランニング(株)
ニューチャレンジ総務委員長	熊野皓太	(有)くまの洗濯堂
絆委員長	石黒大輔	石黒キョーコーナー
スキルアップ委員長	五島延貢	(株)ふたつわ食品
つなぐ事業委員長	菅野源心	(株)エスエス
会員資質向上室長	江成剛	(株)アークエナリー
会員親睦向上室長	辻昌裕	作庭 辻
理事	大野祐嗣	(有)大八
理事	寺田雄大	(株)寺田
理事	千田俊介	インテリア あゆみ
理事	吉田貴志	(有)やまと佛だん
理事	澤田佳澄	(株)沢田花房
理事	渋谷康佑	(株)五島書店
監事	大谷忠史	大谷工業(株)
監事	朝倉義晴	(有)砺波飼料
顧問	潟沼秀憲	(有)潟沼塗装店
顧問	本江択	(株)ライフサービス
商工会議所議員	天野修	(有)天野餅店

記者 熊野皓太



## 北陸信越ブロック臨時総会

去る3月12日(金)にチューリップ四季彩館にて今年最初で最後となる対面での役員会・臨時総会・会長会議が行われました。設えを担当しました北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会の佐藤専務理事に今回の会議の成果をお聞きしました。

今年は目に見えないものに左右され、やりたいことが今までのようにできない年度でありましたが、今回当初やりたいこととしていたことをやりきれた会議でした。やりきれなかったことは次年度の亀田、そして長野に紡いで行くよう引き続き協力していきます。

本年度は単なるブロック大会の主管であること以外に、ブロックにて委員会を新設し、各単会から出向者を募り、各単会での悩みごとの解決、また良い所を見つけ合う、そのようなブロックの利用を各単会に促して参りました。そんな連携と交流が3月12日は実を結んだ結果となりました。会長会議ではこのような状況下にも関わらず、令和2、3年度会長、そして日本出向者並びに熱意ある会員を含めた勇気ある92名が6人毎にグループとなり、令和3年度の背中を押そうと正に白熱した議論となりました。最後の発表の際には我先きにと手を上げる光景を見たときは、北陸信越ブロックが変わっていく瞬間を肌で感じました。潟沼会長はこれまでのブロック会長の誰よりも行動されて来ましたし、各単会の会長にも会いに行き情報を発信してきたと思います。

最初で最後の対面事業でありましたが、終わった今、やれる機会があればもっと北陸信越ブロックに貢献できたと思いましたが、潟沼会長が「これが終わりではなくスタートだ」と言われているようにその通りだと感じています。次年度の委員会も既に動き出そうとされていることが喜ばしい限りです。

その後の会長会議第2部で潟沼会長がブロック旗を持って入場する姿は一生忘れることはありません。砺波に皆さんをお呼びできず申し訳ないと悔し涙を流されていたあの時の顔とは違う本当にいい笑顔でした。

記者 清登達朗



連載

どんな人ながか知ってるけ？  
青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの  
アンちゃん、ネエちゃん、砺波で  
こんな活躍しています！

かっこいい父親のように

富田 哲夫（会長） 事業所 富田建築

親子3代続く大工の長男として母親の実家である高岡の病院で生まれ、砺波市新富町で育ったのが今回の記事の主役である富田哲夫会長である。

幼少期から父親に連れられて現場や工場を出入りするような物づくりに興味を持つ子供だったと富田会長は当時を振り返った。富田会長が大工を志したのは小学校の頃、夜高製作時に町内の人たちから頼られる父親を見て「かっこいい」と思ったのがきっかけだ。ご存じの方も多いと思うが夜高製作では台を組んだり山車を組んだり大工の仕事が生かされる場面が数多くある。父親のような大工になりたいと夢を持った富田会長は高校の進学先に高岡工芸高校建築科を受験、見事合格し入学を果たす事となる。「成績は良くありませんでしたが大工になる情熱だけがありました」3年間の高校生活を終えた富田会長はさらに建築を学ぶため、名古屋にある東海工業専門学校へ進学し1年間の勉学に励み実家へ帰省、福野の親方の下で3年間の修行を終えたのち稼業である富田建築へ23歳で入社する事となる。入社と時を同じくして知り合った奥様と24歳で結婚。明るい性格に惹かれましたと恥ずかしそうに話してくれた顔が印象的だった。

富田会長27歳の時に商工会議所青年部との接点が生まれる。仕事関係の先輩からの勧誘で断ることが出来ずしぶしぶ入会を決意、さまざまな役職を歴任され入会から14年後の2021年、第56代砺波商工会議所青年部会長に就任する事が決定した。「今現在、砺波商工会議所青年部には数多くの職種の方が入会しておられる。しかし本当に深くまでどんな仕事をしているか、どのような商品を取り扱っているか知っているのか。もっとお互いのことを知る1年に行きたい」富田会長はそう抱負を語ってくれた。

今、長男は富田会長と同じく高岡工芸高校建築科に進学をし、建築を学んでいる。「どんな職業に就いてもいいけど、大工になってくれたら嬉しいなって気持ちは多少あるかな」富田会長はかっこいい父親だ。自分が憧れた父のように。 記者 渋谷康佑



メモ

昭和54年11月12日生まれ

好きな食べ物 ヒレカツ定食

好きな音楽 レッチリ・ベビメタ

休日の過ごし方 ドライブ

## 連載 青年部会員紹介!

どんな人なかが知つとるけ?

日々頑張っている、あこんこの  
アンちゃん、ネエちゃん砺波で  
こんな活躍しています!

「ありがとう」を大切に

中西 一夫 (直前会長)  
事業所 (株)三喜有 (食品スーパーサンキュー)

日本語で一番美しい言葉「ありがとう」。言った数と言われた数が幸せのバロメータではないか。そのように語る中西一夫会長は南砺市福野町で生まれ育った。料理が好きでシェフになるのが憧れだったが、父の背中を見ていくうちに、家族、力を合わせて稼業を支えていかなければいけないという思いを幼きながらも抱くようになった。そんな中西会長は高岡の高校を卒業後、小杉にある専門学校、その後静岡の大学へと進路を進める。大学を卒業した後、北海道は帯広市のスーパーで3年間修業。25歳で砺波に帰り、自身の会社(株)三喜有で働くこととなる。様々な不安とプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも32歳という若さで社長に就任した。当時のプレッシャーは半端ではなかったと振り返り話した。

中西会長は、スーパーの名前にもあるように「ありがとう」と感謝することを大切に仕事をしている。命あつたものに感謝し、その命を美味しいうちにお客様に届けること、思いやりの心を持って相手と接し人と向き合うこと。その胸の中にはいつも「サンキュー」がある。そんな中西会長が社長を務めるスーパーサンキューには今日も多くのお客様が足を運んでいるに違いない。

記者 荒木悠史



メモ

福野中、ソフトテニス部

小学生にテニスを教えていた

趣味、そば打ち、庭の草むし

好物 寿司 カレー

家族 奥さん 息子さん2人 8歳と4歳

25歳で結婚

元は福光で魚屋 福野に姉妹店ピステ 2代目